

都市再生整備計画(第1回変更)

あわらおんせんえきしゅうへん
JR芦原温泉駅周辺地区

ふくい
福井県 あわら市

平成23年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福井県	市町村名	あわら市	地区名	あわらおんせんせんえきしゅうへんちく JR芦原温泉駅周辺地区	面積	280 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度				

目標

- 大目標 将来の北陸新幹線芦原温泉駅の現駅併設を見据え、定住環境の向上を図りながら駅周辺の活力あるまちづくりを進める。
- 目標 1 結節点機能の強化
- 目標 2 安心で安全な人にやさしい道路の整備
- 目標 3 地域内のコミュニティ活動の促進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本地区は、「生活者が暮らしを営むまちの顔」と「来訪者が金津祭りや近隣の旅行で立ち寄るまちの顔」があり、その背景には、溝江氏による金津城や金津奉行所、竹田川の水運を生業とした時代性、宿場町として本陣飾りでもてなした歴史文化が脈々と流れており、その中に現在の街並みが成り立っている。

しかしながら、JR芦原温泉駅前も他の地区と同様に、少子高齢化やモータリゼーションなど社会情勢の中で、まちの活力も徐々に低下し、シャッターを降ろしたままの商店や閉店する店も増え、長年にわたって寂れた印象が強く、街なかになんか点在する自然や歴史文化の魅力を生かす創造させる景観や街並みには至っていない。

そこで、本来、この地域が持っている歴史・自治の資源に光を充て、磨き、つなげ、補完することにより、買い物や散歩など日常の動きを生み出すことが衰退に歯止めをかける第1歩となるとの視点から、地域に根付いた観光のまちづくりも視野にいれ、竹田川や白山を借景とした風景の保全・活用、本陣飾りや神社・仏閣のPR、花と緑の美しい空間形成など、暮らしを営むまちづくりを進める事で、暮らしを営むまちとしてのポテンシャルを上げ、その結果、来訪者にとっても魅力あるまちづくりを進めたいと考えている。

・地区の中心に位置する芦原温泉駅が、平成17年度から整備新幹線建設推進高度化等事業による駅調査の対象となったことから、新幹線への市民の期待が高まり、駅周辺整備の基本計画に基づき事業を着手することになった。

事業化にあたっては、全体の事業費が多額になることや事業期間も長期にわたる事。また、当駅は在来線の駅に併設されることなどを考慮し、第1期事業では、在来線の駅にも対応した事業を優先して、平成19年度～21年度の3箇年でまちづくり交付金事業を展開してきた。

ここでは、鉄道利用者の利便性を図り、そのことで地域の活性化を図るため、駅周辺に点在していた低未利用地を活用した東西の駐車場整備や、交通ターミナル機能の強化を図るため、西口アクセス道路の一部の区間整備を行った。

また、市民が主体となった美しい景観形成による魅力ある空間作りを目指して、講演会やワークショップ、市民と行政による花と緑の実践活動等を通して、市民の自立した意識づくりとまちづくりの担い手の育成を図った。特に、公園整備においては、計画段階から市民参加のワークショップにより公園整備の基本方針を作成することで、公園を地域の活動拠点としてコミュニケーションの輪を広げることが出来た。

・北陸新幹線の県内延伸が不透明な状況ではあるが、整備のスピードを調整しながら当面は在来線の駅に対応した整備を中心に引き続き取り組む。

第2期事業においても、福井県の北の玄関口である芦原温泉駅周辺の整備を進めることで、玄関口としての景観やイメージ、更には交通環境の改善に取り組むとともに、中心市街地の定住環境を向上させるため、人にやさしく景観に配慮した道路整備を進めることで、安心で安全な暮らしが享受できるよう、第1期事業で高めた地域の魅力や市民のまちづくりに対する意識を更に向上させたい。

課題

- ・第1期事業における公園整備など、地域の定住環境が向上することで、市内の人口は減少しているものの、当地区内では人口が増加している。
- ・駅周辺部において整備した東西駐車場や西口アクセス道路は、整備後、間もないことや整備区間が限られていることから、事業の目標であった鉄道利用者の減少に歯止めがかからない状況である。
- ・駅周辺部では、空き店舗が増え活力が低下していることや、街なか観光する場所も少ないことから、駅から街なかへの人の移動が見られない。
- ・住民参加型のワークショップ等を開催したことで、市民のまちづくりに対する意識の高揚が見られるが、対象の枠を広げ更に継続するためには今しばらく行政の支援が必要と思われる。

将来ビジョン(中長期)

交通結節点機能の強化と景観形成により中心市街地の活性化を図るまちづくり

・あわら市総合振興計画では、まちの魅力創造プロジェクトの重点施策として「新幹線開業を見据えた福井県の北の玄関口の整備」を掲げ、JR芦原温泉駅周辺の整備や大規模空地の有効活用を掲げている。

・あわら市都市計画マスタープランでは、JR芦原温泉駅周辺地区を「福井県の北の玄関口として、特色ある美しい景観形成と新たな機能導入により、活力と魅力あふれる空間を創出すること」をまちづくりの基本戦略に掲げている。

・芦原温泉駅周辺整備基本計画では、広域圏における拠点として位置付けられ、北陸新幹線等の整備を見据え、交通結節点機能の強化と都市機能の導入を図るべき地区と位置付けがされている。

目標を定量化する指標

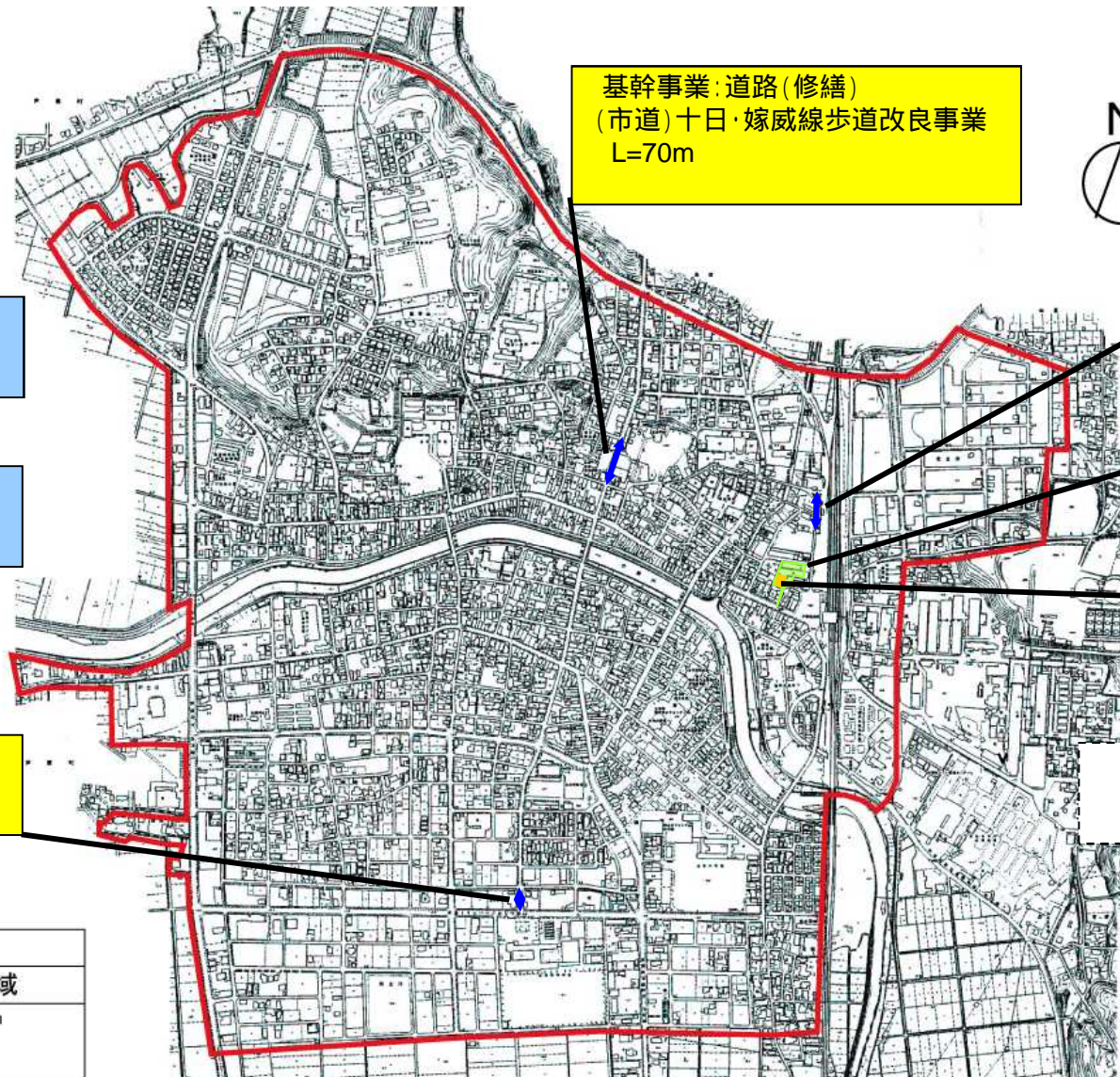
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
乗降客数	人/日	JR芦原温泉駅の乗降客数の減少率 (平成17年度 平成20年度) (平成21年度 平成24年度)	駅へのアクセス道路を整備し、結節点機能の強化を図ることで、鉄道利用者の減少に歯止めをかける。	5% (4,096 3,882)	平成20年度	±0% (3,882 3,880)	平成25年度
交通事故発生件数	件/年	地区内で発生した交通事故発生件数	市街地の通学道路を中心とした幹線道路の整備改善により通学時や緊急・災害時の安全性向上を図る。	157件	平成20年度	151件	平成25年度
定住人口数	人	本地区内に住居する人口	安心で安全な住環境の創造により、定住人口の維持を図る。	8,596人	平成20年度	8,600人	平成25年度
地域コミュニティ活動回数	回/年	まちづくり委員会等の活動回数	住民参加型のまちづくりを推進することで、市民活動の支援をする。	6回	平成20年度	8回	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】 JR芦原温泉駅の交通結節点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 芦原温泉駅は福井県の北の玄関口に位置付けられるものの、県道の1路線に接するだけで、市街地を連携する広域幹線道路へ通じるルートが限られている。 また、当駅の特異な状況となっている、芦原温泉等の観光地への送迎車両が数多く駅前広場を利用しているが、特に温泉街方面への交通ネットワークの利便性が損なわれている。 そこで、芦原温泉駅周辺整備計画で示された駅西口から北側へ向かうの道路を、第1期のまちづくり交付金事業に引き続き延伸する。 芦原温泉駅周辺整備基本計画(平成18年3月策定)において、にぎわい交流施設の建設予定地として位置づけがされていた工場跡地を(仮称)にぎわい交流広場として整備することで、玄関口としてふさわしいシンボル性のある顔づくりや交流拠点として人々が集い楽しむ空間を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> (市道)105号線改良事業 (基幹事業：道路) (仮称)にぎわい交流広場 (基幹事業：地域生活基盤施設(広場)) 既設倉庫解体・撤去 (提案事業：地域創造支援事業)
<p>【整備方針2】 安心で安全な人にやさしい道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存市街地における歩道未設置の区間において通学路を優先した整備を行うことで、通学時はもとより緊急・災害時における安全性の向上を図ることで、市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> (市道)十日・嫁威線歩道整備事業 (基幹事業：道路) (市道)52号線歩道新設事業 (基幹事業：道路)
<p>【整備方針3】 まちづくり活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークショップ等を開催しながら、市民のまちづくりに対する意識を高め、地域コミュニティの更なる醸成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動推進事業 (提案事業：住民参加によるまちづくり活動の推進)
<p>その他</p>	
<p>交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種事業を円滑に進め、目標に向けて確実に成果を上げるため、住民参加型のまちづくり活動の機会に地元関係区からも多く参加いただいて、事業の進め方や目標に向かっての取組み内容を検討することで、計画の進捗状況等を共有しながら計画を進める。</p>	

JR芦原温泉駅周辺地区(福井県あわら市) 整備方針概要図

目標	大目標	将来の北陸新幹線芦原温泉駅の現駅併設を見据え、定住環境の向上を図りながら駅周辺の活力あるまちづくりを進める。	代表的な指標	乗降客数	(人/日)	3,882	(20年度)	3,880	(25年度)
	目標 1	結節点機能の強化		事故件数	(件/年)	157	(20年度)	151	(25年度)
	目標 2	安心で安全な人にやさしい道路の整備		定住人口数	(人)	8,596	(20年度)	8,600	(25年度)
	目標 3	地域内のコミュニティ活動の促進		地域コミュニティ活動回数	(回/年)	6	(20年度)	8	(25年度)



基幹事業:道路(修繕)
(市道)十日・嫁威線歩道改良事業
L=70m

基幹事業:道路(改良)
(市道)105号線改良事業
L=80m

基幹事業地域生活基盤施設(広場)
(仮称)にぎわい交流広場
A=2,901㎡

提案事業:地域創造支援事業
建物解体・撤去 1棟(A=605㎡)

提案事業
まちづくり活動推進事業
(ワークショップ)

提案事業
事業活用調査事業
(事業効果分析調査)

基幹事業:道路(修繕)
(市道)52号線歩道改良事業
L=48m

関連事業
あわら市景観計画策定
(H21~23)



凡 例

	基幹事業
	提案事業
	関連事業